

ニュース リリース

カリプト社、RTL 消費電力最適化における 業界でのリードを拡大

*動作モードによる電力最適化、更なる電力削減、
使いやすさの向上、チーム設計の効率化*

カリフォルニア州サンタクララ市発 – 2010年 6月 8日 – シーケンシャル・アナ

リシス技術のリーダーであるカリプト・デザイン・システムズ社は、本日、業界で最先端のRTL消費電力最適化PowerPro製品ファミリーの最新版、PowerPro 4.0のリリースを発表しました。 PowerPro CG、PowerPro MG、およびPowerPro Analyzerは全面的に改善され、更なる自動最適化技術の追加と使いやすさの大幅な向上により、設計者がより短時間でより多くの消費電力削減設計を行えるようになりました。 PowerPro 4.0は来週、アナハイムでの第47回デザイン・オートメーション・コンファレンスで展示されます。

「世界の主要な電子製品メーカーとSoCメーカーと緊密に協力し、当社はより多くの消費電力削減機能を提供しながら、PowerProの使い勝手を改良し続けています。」と、カリプト社の最高経営責任者であるトム・サンドバル (Tom Sandoval) は述べています。

「PowerPro 4.0の機能によって、最短時間かつ最少の努力で実現可能な最も低電力最適化ソリューションを当社の顧客へ提供することができます。」

RTL設計者のためのカリプト社のシーケンシャル・クロック・ゲーティング電力最適化ツールであるPowerPro CGは、今回のリリースで回路の動作モードに基づく最適化機能を追加しました。これは新しく追加されたシーケンシャル・クロック・ゲーティング・アルゴリズムによるもので、従来可能であった電力節減量に対して、最大3倍の節減ができます。更に従来最適化アルゴリズムも強化し、イネーブル論理の最適化とスイッチング・アクティビティの伝搬機能に新しい方法を用いることで、最適化の実行時間を最大2倍まで改善します。

RTLにおけるメモリ消費電力自動最適化のためのPowerPro MGは、PowerPro 4.0の改良によって、従来比で最大50パーセントの消費電力の節減を行うことができるメモリBISTとECC論理の指定をユーザが容易に特定できるようになりました。これはオンチップ・メモリで消費される動的電力とリーク電力の両方を最適化するための設計者の労力を大幅に低減することを意味します。

PowerPro 4.0は、PowerPro Analyzerの新しいバージョンを含み、スイッチング・アクティビティを正確に伝播するための新しいシーケンシャル・アナリシス技術に基づき、より正確な電力解析を提供します。また、新しいPowerPro AnalyzerはPowerAdviserフローを使用することで、特により大きな電力節減を可能にする拡張された電力レポート機能を特長としています。PowerPro CGとPowerPro MGによって生成されたシーケン

シヤル設計情報を使用して、PowerAdviser Flowは、特定の設計変更情報をRTLコードを
人手で省電力最適化するような設計者に対して提供します。

PowerPro 製品ファミリー

すべてのPowerPro製品は、現在すでに出荷中であり、即日納品が可能です。PowerPro
は、リナックスのPC上で動作します。

PowerPro4.0 は、2010 年 DAC にて展示

6月14日～16日の期間、カリフォルニア州アナハイム市で開催されるDACでは、
カリプト社はブース#286において、PowerProとSLECのすべての製品を展示すると同時
に、PowerPro4.0のデモを行います。個別デモをご希望される方は、以下のアドレスに
て登録をお願い致します。またcalypto_info_japan@calypto.comへの日本語のemailでも受
け付けております。

http://www.calypto.com/dac_registration.php (英語)

さらにカリプト社は、6月17日（木）午後4時30分から207AB号室で「高位合成に最適な
入力言語は何か」と題するパネルで講演します。

カリプトについて

2002 年設立の米国カリプト・デザイン・システムズ社はその特許のシーケンシャル・アナリシス技術に基づいたクラス最良の消費電力最適化と機能検証ソフトウェアを提供することによって、設計者が高品質で、低消費電力の電子システムを作り出すことを可能にします。カリプト社はフォーチュン 500 社に入る顧客を全世界に持ち、また、ケイデンス社のコネクション・プログラム、IEEE-SA、シノプシス社の SystemVerilog Catalyst Program、メンター・グラフィックス社の OpenDoor Program、Si2 のメンバーで、Power Forward Initiative の積極的に参加しています。カリプト社は現在、ヨーロッパ、インド、日本、それに北米の各地域に拠点を持ちます。米国本社の所在地は、2933 Bunker Hill Lane, Suite 202, Santa Clara, Calif. 95054. 電話: (408) 850-2300 です。カリプト社に関する詳細については、www.calypto.com を参照して下さい。

本発表に関する詳細については、以下までお問い合わせください。

カリプト・デザイン・システムズ株式会社

マーケティング 山本修作

電話: 045-470-2070

Email: shusaku@calypto.com

住所: 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-3-4 クレシェンドビル 9F

###

カリプト社と PowerPro はカリプト・デザイン・システムズ社の商標です。その他の製品名および社名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。